

東御市の移住定住促進策の現状と課題

——成功事例との比較を通して——

本研究では、内閣府が公表している移住定住施策の優良事例集の分析を手がかりに、長野県東御市で展開されている移住定住施策の現状を検討し、その特徴と課題を明らかにすることを目的とする。

研究方法として、まず内閣府の優良事例集に掲載された事例を対象に分析を行い、移住定住の促進において重要と考えられる内容を抽出した。その結果をもとに、6つの共通項に整理し、それぞれに該当する自治体の取り組みを比較・検討した。

次に、東御市役所企画振興課移住定住・シティープロモーション係の担当職員1名を対象に、筆者が作成した自由回答形式のアンケート用紙を電子メールで送付し、東御市における施策の現状と課題について回答を得た。

分析の結果、優良事例集からは、6つの共通項が移住希望者の移住検討の過程において生じやすい不安を軽減する役割を果たしていることが分かった。

東御市の回答からは、就業支援や住環境整備、子育て支援など移住支援が総合的に展開されているものの、施策の運用体制や情報発信、成果の把握といった点に課題があることが確認された。

本研究の独自性は、複数の優良事例を比較して抽出した共通項を評価基準として、1つの自治体の移住定住施策を分析した点にある。

意義については、共通項を基準として東御市の施策を検討することで、移住定住施策の特徴と課題を具体的に示した点にある。